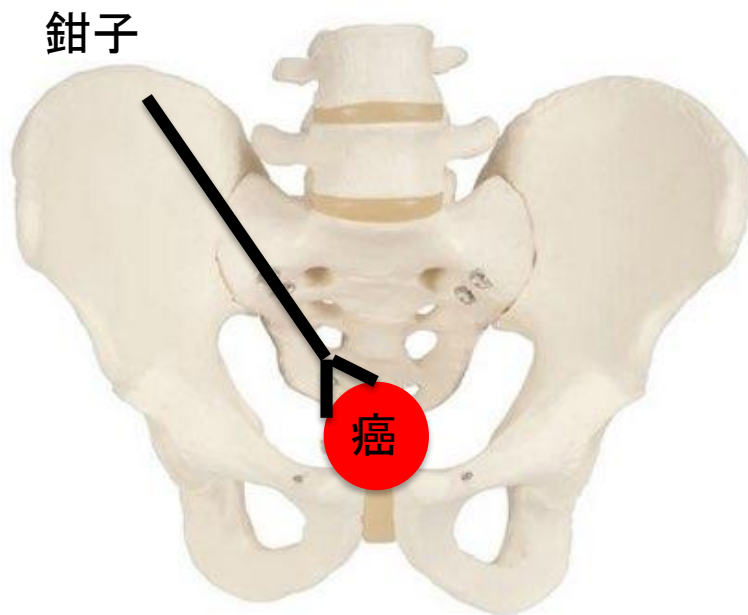


ロボット支援下直腸手術

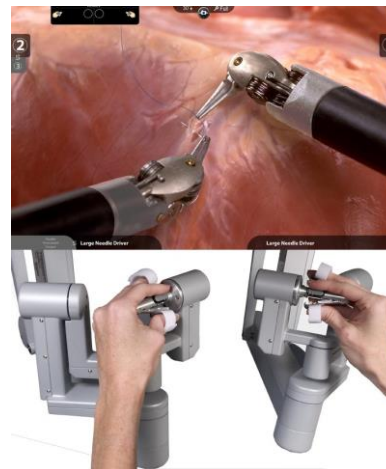
術者が“ダ・ヴィンチ“という医療用ロボットを操作し、手術を行います。従来の腹腔鏡下手術での鉗子操作は動きが限られ、狭い骨盤に存在する直腸がん手術では手技が難しいところがありました。それを補うのがロボット手術であると考えています。



メリット

➤ 手術操作の向上

- ・手のように動く鉗子
- ・手ブレ補正機能



※ ロボットが自動で手術をすることはなく、認定を受けた医師がロボットアームを操作して手術をします。医師が操作しない限りは、ロボットのアームは動きません。

➤ 神経や血管などを鮮明に認識

- ・立体視可能な3Dカメラ



ロボットによる利点を十分に生かすことで、手術がより安全に、少ない侵襲で可能になると考えています。

手術にあたる外科医

操作方法に習熟が必要で、一定の教育プログラムに合格した外科医のみ、手術が可能です。



大腸外科医長

渡部 顕 (わたなべ あきら)

- ・日本外科学会外科専門医
- ・日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医・
消化器がん外科治療認定医
- ・日本大腸肛門病学会大腸肛門病専門医
- ・日本内視鏡外科学会技術認定医
- ・がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修修了

地域の皆様が、遠方に行かずとも良質ながん治療が受けられるように、日々頑張っています。

当院でのロボット手術

当院では2014年2月末からロボット支援下前立腺癌手術を開始しました。2017年10月末現在で218例施行し、手術室スタッフはロボット手術を十分に経験しています。

2018年10月、ロボット支援下直腸癌手術の開始にむけて医師、看護師、臨床工学技士とともにチームを組み、安心・安全な手術ができるよう、準備を進めています。



患者さんの病状や既往歴によって、開腹手術や従来の腹腔鏡手術をご案内することもあります。

患者さんと相談しながら治療方針を決定してまいります。

まずは月曜日または火曜日の午前中にお問い合わせください。

外科外来直通☎: **045-628-6266**



文責 大腸外科 渡部 顕(わたなべ あきら)